

令和 4 年度実務経験のある教員等による授業科目シラバス



関西医療学園専門学校
東洋医療学科

分 野	専門分野		
教育内容	総合領域		
講義名	特殊療法		
授業方法	講 義		
単位数	1 単位		
時間数	20 時間		
学 科	東洋医療学科	配当年次	2 年
必修・選択区分	必 修		
実務経験	はり師、きゅう師の資格をもつ教員が、鍼灸に関する知識と臨床経験を活かし講義を行う。		

講義内容・目標	安全で効果的な低周波鍼通電療法、灸頭鍼療法ができる。		
授業計画	特殊療法（Ⅰ） 1 低周波鍼通電療法（上肢） 2 " （下肢） 3 灸頭鍼療法（上肢・下肢） 4 低周波鍼通電療法（背部） 5 " （腰部） 6 灸頭鍼療法（背部・腰部） 7 低周波鍼通電療法（後頸部・顔面部） 8 灸頭鍼療法（後頸部） 9 " （顔面部） 10 コルク灸の作成と用法		

成績評価	学修成果評価
評価基準	60 点以上（100 点満点）

分 野	専門分野		
教育内容	総合領域		
講義名	特殊療法		
授業方法	講 義		
単位数	3 単位		
時間数	6 0 時間		
学 科	東洋医療学科	配当年次	2 年
必修・選択区分	必 修		
実務経験	はり師、きゅう師の資格をもつ教員が、鍼灸に関する知識と臨床経験を活かし講義を行う。		

講義内容・目標		鍼灸治療の神髄は、病の本態（証）を把握し自然治癒力を高めることによって必然的に治癒という結果をもたらすことにある。脈診・証・補瀉を中心とするこの治療法を習得実践し臨床に生かせる治療家を目標とする。
授業計画	特殊療法（Ⅱ） 1 経絡治療とは 2 証決定（診断） 3 治療法則（『難経』六十九難・七十五難） 4 脈診の概要 5 " 6 『難経』一難・二難・四難 7 『難経』五難・十五難・十八難 8 脈診の仕方・実習 9 補瀉の概要 10 四診法 11 陰陽学説の概要 12 陰陽学説の臨床応用 13 五行学説の概要 14 五行学説の臨床応用 15 五臓の生理と病理概要 16 五臓の生理と病理の臨床応用 17 五神・七情の概要 18 五神・七情の臨床応用 19 臓象学説の概要 20 臓象学説の臨床応用 21 病因病機の概要 22 病因病機の臨床応用 23 十二経絡の病症 24 『靈枢』経脈篇第十（是動病） 25 『靈枢』経脈篇第十（所生病） 26 奇経治療とその実際 27 " 28 子午治療とその実際 29 " 30 まとめ	

成績評価	筆記試験
評価基準	6 0 点以上（1 0 0 点満点）

分 野	専門分野		
教育内容	総合領域		
講義名	特殊療法		
授業方法	講 義		
単位数	3 単位		
時間数	6 0 時間		
学 科	東洋医療学科	配当年次	3 年
必修・選択区分	必 修		
実務経験	はり師、きゅう師の資格をもつ教員が、鍼灸に関する知識と臨床経験を活かし講義を行う。		

講義内容・目標	本科目の講義を通して様々な鍼灸療法を学び、鍼灸治療の引き出しを増やして、多くの臨床場面に対応できるようになる事と様々な刺鍼療法の体験から毫鍼の刺鍼技術の向上を図る。		
授業計画	1	特殊療法（Ⅲ）	
	2	打管鍼法	
	3	皮内鍼法	
	4	小児鍼法	
	5	小児の灸法	
	6	スキン鍼法	
	7	横刺鍼法：坂井流	
	8	古代中国の刺法	
	9	中国金代の刺法	
	10	杉山流刺鍼手技法	
	11	刺絡療法	
	12	吸角療法	
	13	控刺鍼：簡易控刺法	
	14	澤田流太極療法	
	15	灸頭鍼療法	
	16	棒 灸	
	17	押 灸	
	18	箱 灸	
	19	肢体運動刺鍼法	
	20	体位鍼	
	21	奇経療法	
	22	異種金属療法	
	23	イオンバンピング療法	
	24	本田式下腿三頭筋テスト法	
	25	人迎脈口診	
	26	消炎鍼法	
	27	赤羽氏知熱感度測定法	
	28		
	29		
	30		

成績評価	学修成果評価
評価基準	6 0 点以上（1 0 0 点満点）

分野	専門分野		
教育内容	実 習		
講義名	あん摩マッサージ指圧実技		
授業方法	実 技		
単位数	3単位		
時間数	90時間		
学 科	東洋医療学科	配当年次	3 年
必修・選択区分	必 修		
実務経験	あん摩マッサージ指圧師の資格をもつ教員が、あん摩マッサージ指圧に関する知識と臨床経験を活かし実技授業を行う。		

講義内容・目標	身体各部へ、それぞれ適した基本手技を理解し、施術できる技術を習得する。解剖学を理解した上で、施術部位の筋肉を把握し体表観察ができるよう深める。		
授業計画	1	あん摩マッサージ指圧師実技 (IV) (V)	
	2	あん摩の定義、基本手技について	
	3	肩背部 坐位による軽擦法	
	4	肩背部 坐位による把握、圧迫法	
	5	肩背部 坐位による揉捏法	
	6	肩背部 坐位による曲手	
	7	肩背部 坐位による叩打法	
	8	肩背部 坐位による運動法	
	9	肩背部 坐位による施術のまとめ	
	10	頸部 坐位による軽擦法	
	11	頸部 坐位による揉捏法	
	12	頸部 坐位による曲手、叩打法、運動法	
	13	頸部 坐位による施術のまとめ	
	14	頭部 坐位による軽擦法、圧迫法	
	15	頭部 坐位による揉捏法	
	16	頭部 坐位による曲手、叩打法	
	17	頭部 坐位による施術のまとめ	
	18	上肢部 坐位による軽擦法、圧迫法	
	19	上肢部 坐位による揉捏法	
	20	上肢部 坐位による軽擦法、圧迫法	
	21	上肢部 坐位による揉捏法	
	22	上肢部 坐位による叩打法、運動法	
	23	上肢部 坐位による施術のまとめ	
	24	肩背部 側臥位による軽擦法、把握、圧迫法	
	25	肩背部 側臥位による揉捏法	
	26	肩背部 側臥位による施術のまとめ	
	27	頸部 側臥位による軽擦法、揉捏法	
	28	頸部 側臥位による揉捏法	
	29	頸部 側臥位による施術のまとめ	
	30	上肢部 側臥位による軽擦法、揉捏法	
	31	上肢部 側臥位による揉捏法	
	32	上肢部 側臥位による叩打法、運動法	
	33	上肢部 側臥位による施術のまとめ	
	34	腰殿部 側臥位による軽擦法、圧迫法、揉捏法	
	35	臀部三線 側臥位による軽擦法、圧迫法、揉捏法	
	36	腰殿部、臀部三線 側臥位によるまとめ	
	37	下肢部 側臥位による軽擦法、圧迫法、揉捏法	
	38	下肢部 仰臥位による軽擦法、圧迫法、揉捏法	
	39	下肢部、足部 側臥位、仰臥位によるまとめ	
	40	足部 仰臥位による揉捏法、圧迫法、運動法	
	41	あん摩総合復習 疾患別施術法	
	42	"	
	43	"	
	44	"	
	45	"	

成績評価	卒業実技試験
評価基準	60点以上 (100点満点)

分 野	専門分野		
教育内容	実 習		
講義名	はりきゅう実技		
授業方法	実 技		
単位数	3単位		
時間数	90時間		
学 科	東洋医療学科	配当年次	3 年
必修・選択区分	必 修		
実務経験	はり師、きゅう師の資格をもつ教員が、鍼灸に関する知識と臨床経験を活かし実技授業を行う。		

講義内容・目標	体幹部の体表観察、触診を行い骨・筋を理解することができる。 体幹部の骨筋を理解した上で障害部位に対し適切な治療をすることができる 内科疾患に対する鍼灸・手技療法をすることができる。臨床実習に向けて全身施術ができるようになる。 卒業後に向けてあま指の総合的な治療法を理解し開業に対する考え方ができるようになる。	
授業計画	はりきゅう実技（Ⅳ）（Ⅴ）	
	1 治療の概要の説明	
	2 胃疾患 食道・胃疾患に対する治療穴の説明	
	3 胃疾患に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	4 肝胆膵 十二指腸周囲の疾患に対する治療穴の説明	
	5 肝胆膵に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	6 肝胆膵 肝胆膵に対する治療穴の説明	
	7 肝胆膵に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	8 大小腸 便秘・下痢症状に対する治療穴の説明	
	9 大小腸に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	10 大小腸 虫垂炎・痔疾患に対する治療穴の説明	
	11 大小腸に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	12 泌尿器疾患 腎疾患に対する治療穴の説明	
	13 泌尿器疾患に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	14 泌尿器疾患 膀胱疾患に対する治療穴の説明	
	15 泌尿器疾患に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	16 婦人科疾患 月経異常に対する治療穴の説明	
	17 婦人科疾患に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	18 婦人科疾患 更年期症状に対する治療穴の説明	
	19 婦人科疾患に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	20 呼吸器 風邪症候群・気管支疾患に対する治療穴の説明	
	21 呼吸器に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	22 心臓疾患 不整脈と動悸に対する治療穴の説明	
	23 心臓疾患に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	24 頭部 頭痛に対する治療穴の説明	
	25 頭部疾患に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	26 頭部 高・低血圧に対する治療穴の説明	
	27 高・低血圧に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	28 神経症 不眠症に対する治療穴の説明	
	29 神経症に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	30 神経症 不安神経症に対する治療穴の説明	
	31 神経症に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	32 眼科疾患 仮性近視・斜視に対する治療穴の説明	
	33 眼科疾患に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	34 眼科疾患 白内・緑内障の予防に対する治療穴の説明	
	35 眼科疾患に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	36 耳疾患 耳部炎症疾患・耳鳴り・難聴に対する治療穴の説明	
	37 耳疾患に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	38 耳疾患 めまいに対する治療穴の説明	
	39 耳疾患に対する治療穴の取穴と鍼灸実技。	
	40 鼻疾患 アレルギー性鼻炎・鼻閉や嗅覚異常に対する治療穴の説明	
	41 鼻疾患に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	42 顔面部 咽喉疾患に対する治療穴の説明	
	43 顔面部に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
	44 顔面部 顎関節症・歯痛・顔面痙攣に対する治療穴の説明	
	45 顔面部に対する治療穴の取穴と鍼灸実技	
成績評価	卒業実技試験	
評価基準	60点以上（100点満点）	